

## ホッブズ

### 2018 年追試

問 3 社会契約説を唱えたホッブズとロックの思想の説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 

31
----

- ① ホッブズによれば、人間は、自然状態では、自己保存の欲求に基づいて自由に行動をするので、互いに <sup>おおかみ</sup> 狼 のように争ってしまう。そこで、互いの安全を図るため社会契約を結ぶ必要がある。
- ② ロックによれば、人間は、他人を思いやる良心をそなえているので、内的制裁によって利己的な行為を抑えるものである。しかし、それだけでは自然権の保障は確実ではないため、社会契約を結ばなければならない。
- ③ ホッブズによれば、自然権を譲渡された個人ないし合議体は、リヴァイヤサンのような強大な権力をもつべきである。そして、人民はこの権力に服従しなければならない。
- ④ ロックによれば、最高権力である主権はあくまでも人民にある。それに対し、政府の役割とは、もともと人民のもつ、生命や財産などの権利を保障することである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	31	②	3

2017 年本試

問 3 次のア～ウは、自由についての思想家たちの考えを説明した記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 31

ア サルトルによれば、人間は、選択と行為によって自らを作り上げる自由な存在であり、各自の利益と幸福を追求する市民社会を実現すべきである。

イ ルソーによれば、人間は、生まれつき自由で平等だが、自然的自由を放棄して自らが制定した法に従うことで、市民的(社会的)自由を獲得する。

ウ ホッブズによれば、人間は、自然状態において、自らの生命を維持するためにどんなことでも行う自由を、おのおの自然権としてもっている。

- |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 正 |
| ② | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 |
| ③ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 |
| ④ | ア 正 | イ 誤 | ウ 誤 |
| ⑤ | ア 誤 | イ 正 | ウ 正 |
| ⑥ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	31	⑤	3

2013 年追試

問 2 下線部 **b** に関して，次のア～ウは自然権ないし自然法について考察した思想家の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 

31
----

ア ホッブズは，人間は生まれながらにして自己保存の欲望をもち，その欲望を追求する自然権を有していると考えた。

イ ベンサムは，個人の生命・自由の保障は，理性の声である自然法に基づくものであると考えた。

ウ グロティウスは，人間本性に由来する普遍的原理としての自然法と，国家間の取り決めである国際法は対立関係にあると考えた。

- |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ② | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ④ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑦ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ⑧ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 誤 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 2	31	④	2

2012 年本試

問 3 次の文章はホッブズの考え方を説明したものである。これを読んで、～に入る語句の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

ホッブズは、物体の本性をデカルトのようにとはみなさず、運動であると考えた。人間の心の働きもまた、物体における運動の過程として説明される。さらに彼は、物体の運動に自己保存の傾向を認め、人間におけるこの自己保存の権利をと呼ぶが、これが無制限に行使されると、かえって各人の自己保存は困難となってしまうと言う。そのため人々はを一人の人間または合議体に譲り渡し、譲渡されたものは怪物的な存在にたと譬えられるような強大な権力をもったを形成して平和を維持すると彼は説いた。

- ① a 延長      b 自然権      c 国家
- ② a 延長      b 自然権      c ファランジュ
- ③ a 延長      b 生存権      c 国家
- ④ a 延長      b 生存権      c ファランジュ
- ⑤ a コギト      b 自然権      c 国家
- ⑥ a コギト      b 自然権      c ファランジュ
- ⑦ a コギト      b 生存権      c 国家
- ⑧ a コギト      b 生存権      c ファランジュ

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	24	①	3

2007 年追試

問 6 ホッブズが捉えた「自然状態」のあり方として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 

26
----

- ① 自然状態では，人間は，互いに孤立したまま生きているが，自己を愛するだけでなく他人への憐れみの情をもっている。
- ② 自然状態では，生まれながらにして持っている自由の権利が否定されているので，人々は互いに狼となつている。
- ③ 自然状態でも，人間は善悪を理性的に判断できるので，各人が自然法を執行し，他の人々を裁く権利をもっている。
- ④ 自然状態では，欲求を満たすために自分の力をどう用いてもよいので，人生は，孤独で貧しく汚らしく残忍で短い。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 6	26	④	3

2005 年本試

問 1 文章中の  に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ  
選べ。

ホッブズがその主著『  』の中で人間の自然状態として語った「万人の万人  
に対する闘争」は、無制限の権利と自由を手にする人間が繰り広げざるをえない光  
景だった。人間はそこに死の恐怖を感じないわけにはいかない。そこで、闘争状態  
を回避するために  を結ぶことによって社会状態へ移行する、とホッブズは考  
えた。

- ① リヴァイアサン            ② 社会契約論  
③ 統治論                    ④ 法の本質

問 2 文章中の  に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ  
選べ。

- ① 互いに相手の自然権を重視した行動をするという契約  
② 自分たちの自然権を放棄し統治者に譲渡するという契約  
③ 争いの主な原因となる所有権を制限するという契約  
④ 自分たちのうちの <sup>だれ</sup>誰かを衝突の際の調停者に指名するという契約

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	11	①	2
第 2 問	問 2	13	②	3